

場人物の様々な文脈の中に現われ、様々の情感——嫉妬、慕情、エロス、怒り、軽蔑等々——を象徴的に表現している。例えば、情欲の虜となりサロメの姿を追って登場するエロドに対し、妻のエロディアスはこう言って夫をたしなめる——

彼女を見つめてはねりませぬ。あなたは見つめてばかりいらっしやる。(p. 35)

この台詞はエロドのドス黒い情欲ばかりでなく、また妻の嫉妬心をも象徴的に語った台詞である。作者はこのような作法で、若きシリア人、エロディアスの小姓、エロディアス、エロドなど、情念につかれた登場人物の内奥の心理を象徴的に描いている。その圧巻が、ヨカナアンの首を手にしたサロメの長独白(「ああ? なぜわたしを見つめてくれなかったの、ヨカナアン? …」)であろう。'regarder' という語は、それ自体が一片のモザイクとなって、全篇を蔽うモザイクの中にちりばめられているのである。敢て象徴の美学と名付けた所以である。

表面と象徴の美学は、メーテルリンクやダヌンツィオのそれらと同様、一幕物の傑作『サロメ』を生んだと言うことが出来るのではないだろうか。

## 研究発表要旨 ワイルドの童話における

### イメージについて

小泉和弘

(東海大学講師)

ワイルドの童話には、色彩・植物・動物のイメージが多く現われる。これらのイメージは、プロットを進行させたり、主題と深く関わりを持ったりして、重要な役割を果たしている。

*THE SELFISH GIANT* と *THE YOUNG KING* では、色彩のイメージが重要な役割を果たしている。*THE SELFISH GIANT* では、大男は自分の身勝手さのために、自分の庭にだけ春が来ないことを悟り、心が温和になり、人間として成長して、白い花に包まれて天に召されて行く。白という色は、雪の冷たさと神聖さを兼ね揃えた色であり、大男が死んで冷たくなってしまおうという物的死と、心が神聖になって死んで行くという精神的死という二つのことを象徴している点が、非常に見事に描かれている。

*THE YOUNG KING* では、夢の描写が plot 上、重要な役割を果たすのであるが、

夢の中では特に黒という色彩のイメージが有効に使われている。黒は冥界の闇を表わすものであり、若い王の美への情熱は、人々を死にまで陥らせるものであることを象徴している。

*THE HAPPY PRINCE* と *THE DEVOTED FRIEND* と *THE STAR-CHILD* と *THE NIGHTINGALE AND THE ROSE* は、動物・植物・色彩のイメージが多く用いられている。*THE HAPPY PRINCE* には、貧富の対比、生死の対比がこれらのイメージによって構成されている。幸福の王子の住んでいた街には、お針子の red hand があり、ツバメが飛んで行こうとしたエジプトには、王の墓場に yellow linen がある。Red は、キリストの受難を表わす色であるから、red hand は貧しさ・苦しみの象徴であり、yellow linen は富と権力を表わすものである。また、reed は死を表わすものであり、lion は豊じょうを表わすものである。

*THE DEVOTED FRIEND* では、種々の花のイメージが現われる。これらの死のイメージは、ハンスの性格を表わし、また、彼の死の伏線である。ハンスの性格は、Gilly-flowers が示すようにやさしく、Violet が示すように忠実であり、Crocuse が示すように、粉屋の大男に踏みつけられても、踏みつけられても丈夫な精神を持っている。彼は、Basil が示すように貧乏であり、彼の行動は他人から見れば Co'umbine が示すように愚行である。Lady-smock と Daffodil は共にハンスの死を暗示するものであって、彼が死んだあとの人々の悲しみを Marjoram が示している。一見して、雑然と花の名が並んでいるように思われても、決して意味なく描かれているのではないのである。

*THE NIGHTINGALE AND THE ROSE* では、終始ナイチンゲールとバラのイメージが、読者の頭から離れない。この物語は、学生に恋をしたナイチンゲールが、報われぬ恋と知りながら、学生のために赤いバラを探し求める。最初に見つけたバラは白で、次に見つけたバラは黄色で、最後に見つけたのが赤いバラの木であった。白いバラは、粉粋・処女性を表わし、黄色のバラは、不実・嫉妬を表わし、赤いバラは、熱情・驚嘆・死・殉死を表わす。最後に出逢ったバラに、ナイチンゲールは恋の熱情を成就するため、バラのとげで心臓を刺し、赤く染めねばならないことを教わる。ナイチンゲールの流した血で、バラは red よりもなお濃い crimson になった。Wilde は、red を用いず、あえて愛を表わす crimson を用いたのである。

最後に、*THE STAR-CHILD* では、動物のイメージが星の子の将来を暗示している。星の子は、魔術師に奴隷にされて金貨を見つけに行くが、途中で罾にかかったウサギを救うことにより、金貨を見つけることができる。Hare は、豊じょう・復活・王者の動物を表わし、星の子が将来王になることの伏線になっている。